

平成 年 月 日

交付対象事業																	
A 下水道事業				直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	下水道	一般	泉大津市	直接	-	汚水	新設	高石泉大津幹線区域 汚水管渠整備事業	汚水管 φ200mm L=700m	泉大津市						44	
1-A-2	下水道	一般	泉大津市	直接	-	汚水	新設	和泉泉大津幹線区域 汚水管渠整備事業	汚水管 φ200～800mm L=14,327m	泉大津市						1168	
1-A-3	下水道	一般	泉大津市	直接	-	雨水	新設	夕風排水区 雨水管渠整備事業	雨水管 φ700～□2300mm A=17.26ha	泉大津市						506	
1-A-4	下水道	一般	泉大津市	直接	-	処理場	改築	沙見下水処理場合流改善事業	水処理施設工事	泉大津市						185	合流改善
1-A-5	下水道	一般	泉大津市	直接	-	汚水・雨水 ポンプ場	改築	下水道施設長寿命化計画策定及び対策事業	長寿命化計画及び対策	泉大津市						187	長寿命化
1-A-6	下水道	一般	泉大津市	直接	-	汚水・雨水 ポンプ場	改築	沙見ポンプ場耐震化事業	診断、設計及び工事	泉大津市						110	
合計															2200		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	下水道	一般	泉大津市	直接	-	新設	高石泉大津幹線区域 污水管渠整備事業（支線）	污水管 φ=200mm L=550m	泉大津市						18	
1-C-2	下水道	一般	泉大津市	直接	-	新設	和泉泉大津幹線区域 污水管渠整備事業（支線）	污水管 φ=200mm L=3190m	泉大津市						430	
1-C-3	下水道	一般	泉大津市	間接	個人	-	水洗化工事助成金事業	水洗化促進への助成金	泉大津市						32	
合計															480	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	基幹事業（1-A-1）で実施する污水管渠と接続する污水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															
1-C-2	基幹事業（1-A-2）で実施する污水管渠と接続する污水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															
1-C-3	基幹事業（1-A-1、1-A-2）で整備する下水道の面整備に併せて、地域住民に各戸水洗化を助成することで公共下水道への接続促進を図り、公衆衛生の向上に寄与する。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・平成21年度末比較で956人が新たに下水道利用可能となった。 ・夕風排水区の17.26haにおいて公共下水での雨水排除が可能となった。 ・全合流式区域から排水される下水処理において汚濁負荷量を削減が行えた。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	中間目標値	92.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	・人口推計の差異による
		中間実績値	92.6%		
	指標②（夕風排 水区雨水整備 率）	中間目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		中間実績値	100%		
	指標③（合流改 善事業：汚濁負 荷量の削減）	中間目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		中間実績値	100%		
	指標④（合流改 善事業：未処理 放流回数の半 減）	中間目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	・合流改善事業における未処理放流回数の半減については、事業完了し、計画目標値 28回(27.45% 年間降雨回数102回)に対し、平成24年度末測定値33回(27.97% 年間降雨回数118回)であり、残り2年の測定を継続する。
		中間実績値	測定継続中		
	指標⑤（建築構 造物の耐震化）	中間目標値	未着手	目標値と実績値 に差が出た要因	
		中間実績値	未着手		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		①下水道処理人口普及率は、中間目標値を達成し最終目標に向け事業継続中。 ②夕風排水区雨水整備率は、事業完了し目標値達成。 ③合流改善事業における汚濁負荷量の削減については、事業完了し、計画目標値40.8t/年に対し、平成24年度末測定値18.2t/年となり当年度において目標達成。 ④平成24年度の測定結果については、比較対象年度と比べ降雨量が多く、これを考慮すると概ね目標放流回数を達成した。 ⑤汐見ポンプ場の耐震化事業実施年度は、平成25年度、平成26年度となっている。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・計画通り順調に進捗しており、全目標達成に向けて今後も事業を推進させる。					